

九州の現状と今後	I
田中 実(自動車技術会 九州支部長)	

技術の窓	ひろがるモビリティの世界	2
	島本 誠(ヤマハ発動機)	

Keynote Address	「さらに豊かなクルマ社会の実現」にむけて	4
	益子 修(三菱自動車工業)	

「技術開発賞」 技術紹介 第69回自動車技術会賞にて受賞された方々による技術の解説。本年8件授与。本号は4件受賞記事掲載。他4件受賞記事は前号掲載。	高耐衝撃軽量発泡ドアトリムの開発	6
	玉樹幸祐・鈴木利洋・清水康之・鬼頭雅征・加藤恵介(トヨタ紡織)	
	快適性と居住性を両立する車両用薄型天井サーキュレータの開発	8
	落合利徳・小田修三・酒井雅晴・石黒俊輔(デンソー)	
	プレミアムカラー実現に向けた、光学測定を進化による『匠』の目の質感評価技術の確立	10
久保田 寛・赤峰真明・湊 允哉・中野 さくら・桂 大詞(マツダ)		
過給機との高度なマッチングにより異常燃焼を抑制した大型二輪車用過給エンジン	12	
市 聡顕・渡部寛之・有馬一樹・齋藤将仁・田中一雄(川崎重工業)		

特集

CASE時代のクルマのメンテナンス



発行日(発行月1日)より特集記事の抄録をスマートフォンでご覧いただけます▶

● 総括・展望

自動車技術の進化に対応した今後の自動車検査のあり方	14
奥村貴志(国土交通省)	

自動車の電動化に関する将来展望	20
—CASE時代を見据えて—	
大聖泰弘(早稲田大学)	

2020年に向けた自動車社会の動向と自動車情報システムの戦略	28
時津直樹(インターネットITS協議会)	

法の視点から見たこれからの点検整備・車検制度のあり方	35
中川由賀(中京大学・名古屋大学・中川法律経営事務所)	

● 新しい検査技術

車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法の概要	42
廣瀬敏也(芝浦工業大学)後閑雅人(自動車技術総合機構)	

革新的インフラマネジメントシステムと今後の展望	47
土橋 浩(首都高速道路)	

● サイバーセキュリティ

自動車サイバーセキュリティの概要	53
青山昌寛(日産自動車)	

自動車ソフトウェア向けセキュリティ設計	59
萱島 信(日立製作所)	

自動車サイバーフィジカルセキュリティの評価プラットフォームとその応用	65
松本 勉(横浜国立大学)遠山 毅(トヨタ自動車)	

くるまのライフサイクルとサイバーセキュリティプロセス	71
橋本 寛(本田技術研究所)	

● EVとシェアモビリティ

自動車排出ガス規制と計測技術のグローバル展望	78
—将来のパートレインがもたらす影響—	
森 雄一(堀場製作所)	

長崎EV&ITSにおけるEVレンタカーサービスの導入と持続的運用	86
鈴木高宏(東北大学)	

石巻地域のコミュニティ・カーシェアリングとメンテナンス	93
山本憲一(専修大学)吉澤武彦(日本カーシェアリング協会)	

● 自動運転

日本自動車研究所Jtownの紹介	99
高山晋一・北島 創・山口直紀(日本自動車研究所)	

Addressing the Verification & Validation Challenges Facing Connectivity and Automated Driving	103
Chris Reeves(HORIBA MIRA)	

高精度測位と高精度地図によるモビリティサービス	109
安光 亮一郎(三菱電機)	

リレーエッセイ

学生フォーミュラ
の日々そして今

「想い」の力

秋元 健太郎 (三菱重工航空エンジン)

115

超の世界

固体／液体界面の電気二重層を真空中で精密解析する

横田泰之・レイモンド・A・ウオン・金 有洙 (理化学研究所)

116

なるほどのコーナー
スポットライト

車載用ステレオカメラを利用した走行路凹凸形状の高精度推定技術の開発

竹村雅幸 (日立製作所) 志磨 健 (日立オートモティブシステムズ)

118

標準化活動
レポート

環境部会における規格活動状況

原 裕一 (いすゞ自動車)

120

技術会通信

会 員	122
会議予定	123
参加者募集	127
FISITA World Mobility Summit 2019	
スポンサーシップ募集	135
2019年春季大会	136
第5回理事会	138
第9回定時総会	139
2019年会誌編集委員会紹介	140

表紙のコメント

AIの進化により予防整備が進み、修理する時は既に故障部位がわかっている、部品手配も済んでしまうような時代がすぐそこまできているのでしょうか。

吉永 渡 (日野自動車)



次号特集

年鑑

2018年中の自動車及び関連分野の動向を統計データ、記録的な資料として発行。

乞うご期待!!

エンジンベンチ向け

CANバス接続型制御/計測モジュール

For condition monitoring & control, integrated into the automation system



imc CANSASはCANバスへ接続する計測/制御モジュールです。パレットと組み合わせた計測器の効率的な運用を提案し、エンジンベンチの稼働率向上に貢献します。

東陽テクニカ CANSAS で検索!